

令和6年度 公益社団法人 日本栄養士会会長表彰を受けて

栄養関連企業等フリーランス 阿部和子

この度は、日本栄養士会会長表彰をいただき誠にありがとうございました。

小学生の時の卒業アルバムで将来になりたい職業を「栄養士」と書き、目指してまいりました。福島に転居後は、市町村の乳幼児健診、栄養相談、健診結果相談会、高齢者の介護予防事業等に携わりました。栄養士の地域活動としては、食育体験プログラム講師、栄養ケアステーション事業、イベント協力や、東日本大震災後の被災者支援・子育て支援等の県の委託業務も、現在は栄養・食生活支援業務となりました。乳幼児から高齢者まで年齢に幅があるため、生涯教育・各種研修会への参加、研究発表会での発表等の様々な経験が自身のスキルアップになりました。諸先輩や関係者各位のご指導・ご支援の賜物と心より御礼申し上げます。私と関わってくださったすべての方に感謝するとともに、活動を通して学んだことを後輩の先生方にお伝えしていきたいと思います。

令和6年度 公益社団法人 日本栄養士会会長表彰を受賞して

公益財団法人金森和心会 針生ヶ丘病院 清水裕美

この度、日本栄養士会会長より表彰いただきましたこと、誠に光栄に思います。

病院栄養士として数十年間勤めることができたのも、上司や先輩諸氏のご指導・ご支援、同僚や周りの方々の支えによるものと、深く感謝いたしております。入職時は厨房業務からのスタートでしたので、給食管理の経験を積みながら、栄養士会に入会しました。最新の栄養情報や生涯教育・各種研修会等に参加していくことで、多くの専門知識を学び業務に活かすことが出来ており、大変ありがたく思っております。また、他の職域の方々の活動を知ることは、新たな発見も多く、自分自身への良い刺激となっております。特別講演での、日本栄養士会会長中村丁次先生による「栄養の力で人々を健康に、幸せにする」というお言葉は、栄養改善の実践的リーダーである管理栄養士・栄養士が経験を積み、活かしてきた賜物だと感銘を受けました。

今後も、この受賞に恥じることなく、職務に邁進して参ります。

令和6年度日本栄養士会会長表彰を受けて

一般財団法人温知会 会津中央病院 星直子

この度は、日本栄養士会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。

私は、大学を卒業後は栄養士として働くことを志すことができませんでした。しかしその後、結婚・出産を経て育児が始まった時、「私は何も立派なことにはできないだろうから、せめて一緒に食事をするのは心がけよう」と決め、同時に食べることは大切なことだと思い出しました。そしてブランクがあるにもかかわらず栄養士として動き出したい、と卒業して間もなく10年にもなる私でしたが先輩方は快く、温かく迎え入れてくださいました。今私がこのように働けるようになるまで成長できたのは、先輩方のおかげです。私はこれからも「食べること」に対する人それぞれの価値観を尊重し、その方に寄り添えるよう、先輩方を目標とし、後輩からは慕われる栄養士となれるよう、この度の表彰により決意を新たにできました。

今後も皆様方のご指導賜りたくお願い申し上げます。